

情報公開（令和3年度）

3 令和2年度事業報告

4 令和2年度財産目録

5 令和2年度貸借対照表

6 令和2年度正味財産増減計算書

~~7 令和2年度監査報告書~~

8 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて

9 令和3年度事業計画

10 令和3年度収支予算書

令和2年度事業報告

<はじめに>

政府によると、「令和2年度の実質 GDP は昨年比-5.2%と大きく落ち込むと見込まれ、新型コロナウイルスにより経済は大変厳しい状況にある」と判断されています。その為、まず新型コロナウイルス感染を収束させ、地方の活性化、デジタルとグリーン成長戦略へ取り組まれます。

このような経済・社会状況のもと、当センターの令和2年度受注状況において、受託事業は緊急事態宣言の実施などから、161件の受託件数減と6,459千円の契約金額減となりました。一方、派遣事業は20件の派遣受注件数増、5,496千円の契約金額減となりました。その結果、受託事業と派遣事業の契約金額合計は11,964千円の大幅な減少となりました。次に、安全就業について、傷害事故が2件と損害事故が4件発生しました。傷害事故は、比較的安全な派遣就業において転倒が2件発生し、内1件は3か月に及ぶ入院治療でした。損害事故は、草刈り機事故が3件、剪定中の電線切断1件をおこなっています。作業方法・防護具ともに対策を図らなければなりません。次に財務状況は、毎月の収益と費用状況を評価して収支相償を図りましたが、2,362千円の当期経常増となりました。当年度投資は事務所軽トラック2台が10年を超え不調で安全性能が劣る為、車検の機会に買い替えを実施しました。又、廃番となり修理ができない印刷用輪転機の更新と、新型コロナウイルス対策で空間除菌機を購入しました。

1. 事業運営について

(1) 月別受託事業実績及び職種別の実績

令和2年度月別受託事業実績は、上半期は新型コロナウイルス感染症の為に契約金額は大きく減少しましたが、10月以降は昨年同等となりました。その結果、受託件数は2,684件、就業人員は実人員307人・延人員24,473人、契約金額は113,630千円となりました。昨年度契約金額120,088千円に対し、6,459千円減となっています。特に、緊急事態宣言が発令された4月から5月の減少が大きく、6月と7月は減少したものの徐々に差が縮まり、年度後半では昨年同等となりました。

月別受託事業実績

(単位：件・人・円)

月	受託 件数	就業人員		契約金額				昨 年 比
		実人員	延人員	配分金	材料費	事務費	合 計	
4	139	270	1,662	6,503,013	178,541	633,173	7,314,727	▲ 1,714,859
5	236	217	1,697	6,371,512	194,876	604,235	7,170,623	▲ 2,768,299
6	284	268	2,338	10,089,021	307,331	948,936	11,345,288	▲ 1,651,379
7	292	254	2,324	10,358,478	419,960	970,706	11,749,144	▲ 1,286,221
8	310	249	2,305	9,418,158	242,038	894,534	10,554,730	▲ 383,249
9	296	260	2,346	10,451,959	234,922	990,800	11,677,681	▲ 764,551

月	受託 件数	就業人員		契約金額				昨年比
		実人員	延人員	配分金	材料費	事務費	合計	
10	283	265	2,328	10,280,948	321,580	981,072	11,583,600	1,844
11	255	281	2,315	10,357,039	281,639	1,005,004	11,643,682	299,193
12	205	273	1,970	8,183,376	220,391	788,081	9,191,848	266,304
1	123	215	1,667	6,101,013	105,884	600,757	6,807,654	352,856
2	113	204	1,586	5,794,561	110,786	577,351	6,482,698	▲ 82,551
3	148	242	1,935	7,302,109	82,957	722,887	8,107,953	1,272,363
計	2,684	307	24,473	101,211,187	2,700,905	9,717,536	113,629,628	▲ 6,458,549
昨 年	2,845	310	25,271	107,011,620	2,777,039	10,299,518	120,088,177	
比 較	▲161	2,688	▲ 798	▲ 5,800,433	▲ 76,134	▲ 581,982	▲6,458,549	

*就業実人員計は、各月実人員の計ではなく、年間実人員を示す。

(2) 職種別の実績状況

職種別の実績は次表の通りです。新型コロナウイルス感染症の為、サービス分野は3,595千円減、運搬・清掃分野は1,743千円減となりました。その他の分野でも、販売や建設分野は大きな減少となっています。

職 種 別 の 実 績

(単位：件・円・人)

職 種	受注 件数	契約金額			う ち 配分金	就 労 延人員	昨年度 比較	
		公共事業	民間事業	計				
事務的	16	415,017	400,503	815,520	738,422	144	47,056	+6.1%
販売	1	0	98,092	98,092	89,175	23	▲ 124,147	▲59.9%
サービス	71	17,727,216	13,701,671	31,428,887	28,358,325	6,073	▲ 3,594,643	▲19.0%
農林漁業	444	952,010	14,776,667	15,728,677	13,697,219	1,706	▲ 394,145	▲2.4%
生産工程	13	69,994	3,132,754	3,202,748	2,889,247	429	▲ 215,888	▲6.3%
建 設・ 採 掘	14	166,765	405,534	572,299	521,075	84	▲ 433,196	▲43.1%
運搬・ 清掃・ 包装等	909	20,176,005	41,607,400	61,783,405	54,917,724	16,014	▲ 1,743,586	▲2.7%
合 計	1,468	39,507,007	74,122,621	113,629,628	101,211,187	24,473	▲ 6,458,549	▲5.4%

(3) 年度別派遣事業の動向

派遣契約は、受注件数20件増、契約金額5,496千円減、就業実人員9人増とな

りました。昨年まで順調に伸びてきましたが、新型コロナウイルス感染症の為、契約高が9.1%減となりました。令和2年4月からの緊急事態宣言終了後に昨年同等に戻りましたが、昨年度下半期契約が増えたことから、下半期は2回目の緊急事態宣言の影響により大きな減少となりました。契約金額は減ったものの、学校消毒作業の受注により実就業人数が増えました。

新型コロナウイルス感染症の影響による派遣先の休業に対し、できうる限りの会員補償を行いました。しかし、休業に対する事務費は請求せず、派遣先交渉や補助金申請など日常必要としない事務作業が増加しました。又、有給取得を積極的に進めました。これらの為、手数料における共通経費率は、昨年から0.9%増え16.8%となりました。

年度別 派遣事業の動向

単位 (件・千円・人・千円・千円)

年度	受注 件数	事務費	就業実人員	契約高	契約高 対前年比
24	20	1,076	8	11,195	
25	5	169	15	2,823	△8,372
26	32	1,079	30	11,574	8,751
27	43	2,012	40	18,904	7,330
28	48	2,952	45	29,964	11,060
29	69	4,038	67	41,272	11,308
30	87	4,860	79	49,228	7,956
元	96	6,465	99	60,475	11,247
2	116	5,908	108	54,979	△5,496

(4) 令和2年度理事会開催状況

本年度は6回の定例理事会を開催し、次の決議と協議(主項目)を行いました。

開催日時	内 容
第1回 令和2年4月27日 (月)	決議事項 ① 入会会員の承認結果報告について ② 令和元年度事業報告について ③ 令和元年度収支決算並びに監査報告について ④ 令和2年度定時総会の開催について ⑤ 設立30周年事業実施について
第2回 令和2年6月26日 (金)	決議事項 ① 入会会員の承認結果報告について 協議事項 ① 各部会・委員会活動及びスケジュール調整について

<p>第3回 令和2年9月25日 (金)</p>	<p>決議事項 ① 入会会員の承認結果報告について ② 未収金放棄について</p>
<p>第4回 令和2年11月26日 (木)</p>	<p>決議事項 ① 入会会員の承認結果報告について ② 第2四半期報告 ③ 令和2年度収支補正予算(第1号)について 協議事項 ① 「基準第2号 適正就業基準」の長年就業運用について ② 収支相償に向けた来年度配分金改定について ③ 30周年記念事業分担について 令和3年度総会及び30周年記念式典日程について</p>
<p>第5回 令和3年1月25日 (月)</p>	<p>決議事項 ① 入会会員の承認結果報告について ② 第3四半期事業実績について ③ 令和2年度収支補正予算(第2号)について ④ 令和3年度会費及び保険料負担について ⑤ 令和3年度事務費率及び配分金改定について 協議事項 ① 来年度事業計画について ② 働き方改革による 「規程12号 嘱託職員等の給与等に関する規程」について</p>
<p>第6回 令和3年3月26日 (金)</p>	<p>決議事項 ① 入会会員の承認結果報告について ② 令和2年度収支補正予算(第3号)について ③ 令和3年度事業計画について ④ 令和3年度収支予算について ⑤ 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて ⑥ 令和3年度配分金基準について ⑦ 「規程12号嘱託職員等の給与等に関する規程」改定について</p>

(5) 令和2年度会議及び業務の開催状況

本年度は、次の会議及び業務をおこないました。

月日		会議名	月日		会議名	
4	1	辞令交付	10	27-30	救命講習会	
	3	臨時入会説明会		11	9	衣目会計事務所中間監査指導
	27	決算監査			12-13	剪定講習会
	27	第1回理事会			17	但丹ブロック会計研修会
5	15	市福祉総務課事業監査	11		20	入会説明会
	20	入会説明会		25	高城山登山	
	20	理事長兵シ協第1回理事会		26	上期監査	
	27	令和2年度定時総会		26	第4回理事会	
6	3	グランドゴルフ	12	27	生活支援研修会	
	19	入会説明会		4・7	笑い文字講座	
	22-24	兵シ協ハズクリンク講習		9	理事長兵シ協第4回理事会	
	26	第2回理事会		8-10	チェンソー講習受講	
	29	臨時入会説明会		18	入会説明会	
7	8	但丹ブロック会議	12	18	但丹ブロック役職員合同会議	
	16	果樹剪定結果確認会		18	但丹ブロック役職員合同会議	
	17	地域班長・理事合同会議		1	理事選考委員会	
	20	入会説明会		20	入会説明会	
	28	第1回安全委員会 パトロール		25	第5回理事会	
	30	消費生活出前講座		1	兵シ協事務局長会議	
8	5-7	兵シ協ハズクリンク講習	2	12	栗剪定講習会	
	20	入会説明会		19	入会説明会	
	21	法人局監査		22	但丹ブロック研修	
	28	兵シ協主催 新任理事研修		3	消防訓練	
9	8	理事長兵シ協第1回シルバー派遣事業運営委員会	3	12	理事長兵シ協派遣事業運営委員会	
	17	理事長兵シ協第3回理事会		16-4/28	趣味の作品展	
	18	入会説明会		19	理事長兵シ協第5回理事会	
	25	第3回理事会		19	入会説明会	
	30	シルバーの日ボランティア清掃		23	剪定職群班会議	
10	7	但丹ブロック理事長会	3	24	草刈・草引き職群班会議	
	20	入会説明会		26	第6回理事会	

2. 制度改定

昨年に続き、会費の600円減額と損害・障害保険料負担停止と損害事故の5千円負担と職群班班長手当制度を実施しました。加えて、会費の夫婦割引制度と10年表彰会員の就業留保割引を実施しました。

3. 新規入会会員の拡大

6月と8月に一般市民対象に兵庫県シルバー人材センター主催のハウスクリーニング講習実施と、新聞チラシを2月に配布しました。又、ツイッター配信の継続や3月から小さな作品展を実施し、新聞掲載などにより情報発信をおこないました。入会説明会では毎月の就業募集を使用した説明をおこない、入会に結び付けました。

それらの成果から、入会説明会参加者は1.7倍の106名、入会者も1.3倍の48名となり、一方退会者も6名増えましたが、年度末で、ほぼ過去最大会員数の450名となり、特に女性会員は18名増えました。

(1) 令和2年度 会員数の動向

(単位：人)

前年度末会員数	説明会参加者	入会者	退会者	今年度末会員数
423	106	64	37	450

(2) 年度別会員数の動向

(単位：人・歳)

年 度	会 員 数			会員の平均年齢
	男 性	女 性	合 計	
22年度	261	137	398	70.2
23年度	242	144	386	70.5
24年度	247	144	391	70.6
25年度	230	141	371	70.9
26年度	238	146	384	71.1
27年度	244	150	394	71.1
28年度	252	149	401	71.3
29年度	241	145	386	71.6
30年度	259	147	406	71.9
令和元年度	268	155	423	72.5
令和2年度	277	173	450	73.0

4. 就業先の提供と就業会員の確保

①密度の濃い就業案内を行う為に、一昨年度から実施する就業意向調査の本格的整理を行

い、職員が容易に閲覧できるように整備しました。又、緊急の依頼や連絡にあたり、電話以外の案内方法としてショートメールの活用を開始しました。

- ②入会説明会で当年度の就業募集を使用して紹介するとともに、理事会で募集状況を報告して理事の協力を図りました。
- ③新規就業先確保については、派遣での公共関係への就業を広げるべく活動し、学校消毒作業を受注しました。
- ④職群班の班長手当制度を継続し、毎月就業結果を各班長へ伝え、班活動活発化を進めました。又、前年に続き剪定と草引きの予約ハガキと、草刈も予約を一部実施し、班長がより計画的に就業を進められるとともに、予約外の依頼への判断が容易となりました。

5、生活支援事業の推進

新型コロナウイルス感染症の為に料理講習会を中止し、代わりに消費生活講座を実施した。就業においては、よりきめ細かな対応を行いました。又、生活支援依頼の方を対象に口座自動振替を進め、職員の集金業務を削減しました。

6、会員の安全就業の徹底

- ①安全強化月間の7月28日に安全委員会を開催し、南新町の剪定と北野の草刈り現場の安全パトロールを行いました。
- ②石飛が少ない刈刃の斡旋販売を継続しました。又、石飛防護ネットを草刈班へ支給し、手持ち式防護ネットやチェーンソー用防護衣の貸し出しを行いました。
- ③会員の安全意識啓蒙の為、全会員へクレジットカードサイズの安全標語カードを配布し、職群班へは安全標語とセンター名を表記した車体貼り付け用マグネットシートを配布し、会員の安全徹底をはかりました。

<傷害事故・物損事故の年度別発生状況>

本年度は派遣就業にて転倒骨折事故2件が発生しました。内1件は、転倒後に落下し、89日間の入院となりました。又、請負就業は傷害事故ゼロでしたが、草刈中の石飛事故が3件と剪定中に誤って断線を1件おこしました。

傷害事故・物損事故の年度別発生状況

(単位：件)

年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
傷害事故	2	9	0	1	3	6	5	2	2
物損事故	1	0	5	3	4	3	2	3	4
計	3	9	5	4	7	9	7	5	6

7, 適正な受託と就業の為の取り組み

- ①職員間で電話受付時の確認事項を共有し、新規依頼に対し、正しい受注可否判断と現場確認を必ず行いました。
- ②依頼に対し就業形態を詳しく調査し、関係資料や機関へ確認しました。

8, 講習会・研修会等

(1)講習会・研修会

講習会実施については、今後の事業運営改善や会員の技能と安全意識の向上等に繋げるため、次の講習や研修を実施いたしました。なお、コロナ感染症対策の為、交通安全教室、しめ縄・お飾り講習会、網戸・障子張り替え講習会を中止しました。

講習会・研修会

令和2年		内容	
月	日	会議・事業名	備考・参加人数等
6	22-24	兵シ協ハスクリーニング講習	市民 20 名参加
7	16	果樹剪定結果確認会	都合で中止し、後日書類配付とした
	30	消費生活講座	会員 11 名参加
8	5-7	兵シ協ハスクリーニング講習	市民 8 名 会員 9 名参加
10	27-30	救命講習会	3 日間で実施。計 16 名参加。
11	12	剪定講習会	雑木剪定講習 7 名参加
	13		松剪定講習 6 名参加
	27	生活支援研修会	料理講習から認知症研修へ変更。20 名参加
12	4, 7	笑い文字講座	12/4 6 名参加。12/7 7 名参加。
	8-10	チェンソー講習会	5 名参加。資格取得
2	12	栗剪定講習会	会員 12 名参加

9, 会員の相互扶助及び福利厚生事業

健康増進の為の事業として、6月3日に篠山総合スポーツセンター人工芝グラウンドでグラウンドゴルフ大会を開催しました。31名の会員が和気あいあいと交流を深めると共に健康増進を図ることが出来ました。また、11月25日に13人の会員が参加し、NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」放映で注目をあびた高城山へ登山を行いました。しかし、恒例の親睦旅行はコロナ感染症対策の為に中止しました。

又、同好会活動の「ささゆりシルバー絵画クラブ」と「銀（しろがね）俳句会」を月1回開催しましたが、コロナ感染症対策の為に中止も発生しました。

10. 社会貢献活動に関する事業

今年度も、例年から1週間早めて9月30日に「城跡美化作業」を実施しました。昨年から4名減りましたが会員82名が参加し、篠山城跡の草刈・清掃ボランティアを実施しました。本年度も事前周知と、参加粗品や草刈り機燃料準備などをおこないました。地域選出理事が担当ブロック毎を取りまとめる体制とし、城跡内広場と青山神社も実施でき、効率的な進行となりました。

又、剪定講習を兼ねた剪定ボランティアを、11月12日と13日に丹波杜氏酒造記念館の松と今田支所の雑木について実施しました。それぞれ、会員7名と会員6名が参加し、社会貢献として完結することが出来ました。

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)					
	現金	手元保管	運転資金として	31,745	
	預金	普通預金			
		丹波ささやま農協 篠山支店	運転資金として	9,659,680	
		丹波ささやま農協 丹南支店	運転資金として	13,451,402	
		中兵庫信用金庫 篠山支店	運転資金として	56,787	
	未収金	丹波篠山市他153件	シルバー人材センター事業契約金	7,881,499	
	立替金	草刈刃他		114,263	
流動資産合計				31,195,376	
(固定資産)					
特定資産	配分金支払準備 積立資産	普通貯金	配分金の支払いをするために管理	11,000,000	
		丹波ささやま農協 篠山支店	されている預金		
	施設等整備資金 積立資産	定期貯金	シルバー人材センター事業の作業所等修理	4,000,000	
		丹波ささやま農協 篠山支店	設備資金として使用している		
	車両運搬具購入 積立資産	定期貯金	シルバー人材センター事業の車両	0	
		丹波ささやま農協 篠山支店	購入資金として使用している		
	30周年記念行事 積立資産	普通貯金	シルバー人材センター事業の記念行事	1,980,200	
		丹波ささやま農協 篠山支店	の資金として使用している		
	その他	建物	倉庫 丹波篠山市今田町今田新	シルバー人材センター事業に使用している	1
	固定資産	建物附属設備	かしの木やかた手洗い場・防犯用間仕切り	シルバー人材センター事業に使用している	678,690
車両運搬具		軽四トラック2台・軽自動車1台・普通自動車1台	シルバー人材センター事業に使用している	3,845,440	
什器備品		紙折り機等	シルバー人材センター事業に使用している	863,103	
預託金		自動車リサイクル料金	シルバー人材センター事業に使用している	29,410	
固定資産合計				22,396,844	
資産合計				53,592,220	
(流動負債)					
	未払金	配分金 216名	シルバー人材センター事業に供する	7,302,109	
			配分金の未払い金額		
		職員給料手当	職員給料手当の未払い金額	4,901	
		職員社会保険料等	職員社会保険料等の未払い金額	207,105	
			法人管理に要する社会保険料の未払い金額	11,621	
		退職給付費用	職員退職給付費用の未払い金額	36,288	
			法人管理に要する職員退職給付費用の未払い金	2,052	
		光熱水料	シルバー人材センター事業における光熱水費の未払い金額	362	
		業者材料費	シルバー人材センター事業における材料費の未払い金額	68,055	
			法人管理に要する材料費の未払い金額	9,873	
		委託費	シルバー人材センター事業における委託費の未払い金額	134,731	
		租税公課	シルバー人材センター事業の消費税未払い額	331,600	
		預り金	職員からの社会保険料等預り金	63,306	
			職員からの源泉所得税等預り金	75,830	
			役員からの源泉所得税預り金	5,060	
		講師等源泉税	講師等源泉所得税預り金	4,084	
	発注者	発注者からの預り金	6,107		
流動負債合計				8,263,084	
負債合計				8,263,084	
正味財産				45,329,136	

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	31,745	57,707	△ 25,962
普通預金	23,167,869	19,246,435	3,921,434
未収金	7,881,499	7,391,835	489,664
立替金	114,263	104,480	9,783
流動資産合計	31,195,376	26,800,457	4,394,919
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
施設等整備資金積立資産	4,000,000	4,000,000	0
配分金支払準備積立資産	11,000,000	11,000,000	0
30周年記念事業積立資産	1,980,200	2,000,000	△ 19,800
車両運搬具購入積立資産	0	2,830,566	△ 2,830,566
特定資産合計	16,980,200	19,830,566	△ 2,850,366
(2) その他固定資産			
建物	1	1	0
車両運搬具	3,845,440	2,244,638	1,600,802
什器備品	863,103	161,132	701,971
建物附属設備	678,690	812,070	△ 133,380
預託金	29,410	33,730	△ 4,320
その他の固定資産合計	5,416,644	3,251,571	2,165,073
固定資産合計	22,396,844	23,082,137	△ 685,293
資産合計	53,592,220	49,882,594	3,709,626
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,108,697	7,021,452	1,087,245
預り金	154,387	138,836	15,551
流動負債合計	8,263,084	7,160,288	1,102,796
負債合計	8,263,084	7,160,288	1,102,796
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	45,329,136	42,722,306	2,606,830
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(16,980,200)	(19,830,566)	(0)
正味財産合計	45,329,136	42,722,306	2,606,830
負債及び正味財産合計	53,592,220	49,882,594	3,709,626

正味財産増減計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	113,626,828	120,088,177	△ 6,461,349
受取配分金	101,211,187	107,011,620	△ 5,800,433
受取材料費等	2,698,105	2,777,039	△ 78,934
受取事務費	9,717,536	10,299,518	△ 581,982
労働者派遣事業等受託収益	5,908,100	6,464,700	△ 556,600
労働者派遣事業等受託収益	5,908,100	6,464,700	△ 556,600
受取会費	955,000	995,600	△ 40,600
正会員受取会費	955,000	995,600	△ 40,600
受取補助金等	25,745,000	24,506,375	1,238,625
受取連合交付金	12,505,000	11,000,000	1,505,000
受取市(区)町村補助金	13,240,000	13,240,000	0
受取市助成金	0	266,375	△ 266,375
特定資産運用益	809	794	15
特定資産受取利息	809	794	15
雑収益	63,969	53,192	10,777
受取利息	167	152	15
雑収益	63,802	53,040	10,762
経常収益計	146,299,706	152,108,838	△ 5,809,132
(2) 経常費用			
事業費	140,333,079	145,501,009	△ 5,167,930
支払配分金	101,211,187	107,011,620	△ 5,800,433
支払材料費等	2,603,668	2,687,002	△ 83,334
給料手当	19,965,360	19,511,003	454,357
法定福利費	3,394,570	3,518,622	△ 124,052
退職給付費用	1,992,206	1,473,350	518,856
福利厚生費	77,178	103,504	△ 26,326
会議費	8,554	15,727	△ 7,173
旅費交通費	3,200	63,750	△ 60,550
通信運搬費	1,194,757	1,169,448	25,309
減価償却費	1,045,363	435,424	609,939
什器備品費	423,211	153,522	269,689
消耗品費	1,430,520	1,196,886	233,634
修繕費	135,984	120,417	15,567
印刷製本費	459,795	541,940	△ 82,145
光熱水料費	27,111	40,433	△ 13,322
賃借料	1,448,064	1,754,754	△ 306,690
保険料	1,605,007	1,656,320	△ 51,313
諸謝金	83,200	157,137	△ 73,937
租税公課	498,350	968,950	△ 470,600
支払負担金	0	11,100	△ 11,100
委託費	2,452,201	2,689,529	△ 237,328
教材費	136,340	15,269	121,071
支払手数料	48,815	51,540	△ 2,725
雑費	88,438	153,762	△ 65,324

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	3,604,435	4,060,736	△ 456,301
役員報酬	386,500	374,000	12,500
給料手当	1,127,490	1,102,590	24,900
法定福利費	193,636	202,393	△ 8,757
退職給付費用	108,234	78,950	29,284
福利厚生費	1,800	25,734	△ 23,934
会議費	6,676	10,610	△ 3,934
役員等旅費交通費	171,474	240,220	△ 68,746
旅費交通費	0	9,540	△ 9,540
通信運搬費	55,505	70,273	△ 14,768
什器備品費	0	84,420	△ 84,420
消耗品費	111,660	287,043	△ 175,383
修繕費	0	98,755	△ 98,755
印刷製本費	292,142	290,917	1,225
賃借料	83,100	128,790	△ 45,690
保険料	219,450	219,450	0
支払負担金	248,000	248,250	△ 250
委託費	577,872	553,820	24,052
支払手数料	6,050	4,142	1,908
雑費	14,846	30,839	△ 15,993
経常費用計	143,937,514	149,561,745	△ 5,624,231
評価損益等調整前当期経常増減額	2,362,192	2,547,093	△ 184,901
当期経常増減額	2,362,192	2,547,093	△ 184,901
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	244,638	441,599	△ 196,961
車両運搬具売却益	244,638	441,599	△ 196,961
経常外収益計	244,638	441,599	△ 196,961
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	244,638	441,599	△ 196,961
当期一般正味財産増減額	2,606,830	2,988,692	△ 381,862
一般正味財産期首残高	42,722,306	39,733,614	2,988,692
一般正味財産期末残高	45,329,136	42,722,306	2,606,830
Ⅱ 正味財産期末残高	45,329,136	42,722,306	2,606,830

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		□	あり	■	なし
事業 番号	借 入 先	金 額		使 途	
公1					

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		□	あり	■	なし
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達方法又は 取得資金の使途	
公1					

令和3年度事業計画
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度も当センターは、丹波篠山市の補助金及び国の運営補助及び高齢者活用・現役世代雇用(サポート事業)を活用して事業展開を図ります。なお、公益社団法人として求められる収支相償を満たす形で、予算立てを行うよう進めてまいります。又、新型コロナウイルス感染症への感染防止を最優先といたします。

1, 事業内容

令和2年度と同等規模にて実施。事務費率を約8%とする。

2, 令和3年度制度運用項目

<会員>

- ・会費の減額を継続し、2400円/年間と夫婦会員半額と長期会員割引を行う。
- ・保険料負担ゼロと事故負担金最大5000円を継続する。
- ・理事・会員が主体的に企画・参加する場と行事を設け、会員主体の運営へ変えてゆく。
- ・退会を抑制する為、就業目的以外に会員がメリットと感じる事業を検討・実施する。

<理事会・職員>

- ・先進地他シルバーへ研修訪問・見学を実施し、今後の運営へ生かす。

<事務局>

- ・事務局職員体制の運用を更に改善する。(受注、指示、請求、集金業務)

3, 重点活動

(1)新規入会会員の拡大と退会の抑制

- 毎月20日に加え臨時もしくは追加入会説明会を実施し、入会機会を増やす。
- 入会案内チラシや公共施設へポスター設置をおこなう。
- 新規入会の勧誘を会員へ働きかける為の仕組みを開始する。
- 未入会者や長期未就業の会員へ声掛けをおこなう事で会員増と退会抑制を図る。
- 企業(就業先やガイドブック等)への案内実施により就業開拓も兼ねる。

(2)就業先提供と就業会員確保

- 新規就業機会の確保
 - ・公共就業の拡大へ取り組む。
 - ・コロナ感染症対応した就業の開拓。
- 就業情報の提供
 - ・事務局だよりや電話に加え、新たな情報提供手法へ取り組む。
 - ・就業意向調査や過去の就業状況を活用し、広く就業情報を提供し就業につなげる。
 - ・職群班班長と密接に連携し、間違いやクレームを防止する。

○職群班体制と受注能力の調整

- ・剪定と草引き予約受注と予約外受注のきめ細かな対応により受注にこたえる。

(3)生活支援事業の推進

- 家事支援会員の増強と就業開拓を進める

(4)会員の安全の徹底

○新型コロナ感染防止の取り組み

- ・感染防止を最優先とした事業の実施と対策の実行
- ・就業現場での感染防止活動をおこなう

○ 就業事故ゼロに向けた取り組み

- ・安全委員会活動を活発化と、安全、適正就業推進月間(7月・11月)を実施する。
- ・就業時における基本的安全対策を徹底(安全・適正就業基準)する。
- ・受注決定前の現場調査を徹底する。
- ・会員の意識向上を図る為に会員啓発物を作成する。
- ・ヘルメットやチェンソー防護衣や草刈り防護ネットなど防護用具普及を図る。

○ 交通安全の徹底

- ・運転免許や自動車等任意保険加入情報調査を継続整理し、安心な運転を推進する。

(5) 適正な受託と就業の為の取り組み

- ・長年就業是正を進める。
- ・新料金体系・契約方式の調査・検証をおこなう。

(6) 広報活動や会員間情報共有をおこなう

- 新聞や市広報へセンター活動の記事掲載を働きかける。
- 市民センターまつり等の行事へ参加する。
- 事務所前に会員間情報共有やセンター活動掲示の場所を設置する。
- 情報共有化ツールの調査・導入を図る。

4. 講習会・研修会実施について

特に屋内講習では、新型コロナ感染症予防を最優先と致します。

- 雑木・垣根などの雑木剪定講習会と松の剪定講習会
- 交通安全教室
- 家事支援講習会
- 生活支援講習(料理講習会)
- 果樹剪定講習会
- 網戸・障子張替講習会
- 草刈り講習会の実施

5. 会員の交流と健康増進のための事業について

- 同好会活動の活発化
- グランドゴルフ交流会の実施
- 交流ハイキングの実施(市内史跡めぐりなど)
- より多くの会員が参加する会員親睦旅行を企画する。
- しめ縄づくり講習会
- 文化講座(笑い文字)
- 年4回の基礎体力づくり研修会の実施

6. 社会貢献活動について

- 今田支所周辺雑木剪定及び城跡周辺の松剪定作業
- 篠山城跡周辺草刈・草引き奉仕作業

特に、篠山城跡周辺草刈・草引き奉仕作業へより多くの会員参加を求める。

令和3年度収支予算書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	R3 予算	R2 補正予算	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	120,000	111,858	8,142	令和元年度同等
受取配分金	108,519	99,595	8,924	
受取材料費	2,800	2,800	0	
受取事務費	8,681	9,463	△ 782	
労働者派遣事業収益	6,230	5,822	408	
労働者派遣事業収益	6,230	5,822	408	新型コロナの影響継続
受取会費	1,022	960	62	
正会員受取会費	1,022	960	62	会員増
受取補助金等	26,050	25,745	305	
受取連合交付金	12,810	12,505	305	補助金増
受取市補助金	13,240	13,240	0	
受取市助成金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
特定資産運用益	2	2	0	
特定資産受取利息	2	2	0	
雑収益	12	12	0	
受取利息	1	1	0	
雑収益	11	11	0	
経常収益計	153,316	144,399	8,917	
(2) 経常費用				
事業費	150,390	139,728	10,662	
支分配分金	108,519	99,595	8,924	
支払材料費	2,800	2,800	0	
給料手当	20,650	20,136	514	昇給
法定福利費	3,310	3,397	△ 87	法定福利費との科目変更
退職給付費用	2,240	1,994	246	法定福利費との科目変更
福利厚生費	186	78	108	作業服更新
会議費	84	19	65	従来事業
旅費交通費	37	5	32	従来事業
通信運搬費	1,293	1,272	21	従来事業
減価償却費	1,517	1,046	471	軽トラック2台等増
什器備品費	80	454	△ 374	購入減
消耗品費	1,402	1,493	△ 91	消耗品削減
修繕料	110	136	△ 26	
印刷製本費	398	464	△ 66	依頼先変更
光熱水料費	39	29	10	
賃借料	2,124	1,480	644	従来企画実施
保険料	1,472	1,606	△ 134	自賠責保険時期ずれ
諸謝金	284	84	200	従来企画実施と新企画
租税公課	621	664	△ 43	負担消費税増
支払負担金	4	0	4	
委託費	2,477	2,449	28	
教材費	242	137	105	チェンソー講習
支払手数料	69	68	1	
貸倒損失	0	0	0	
雑費	432	322	110	
管理費	3,978	3,721	257	
役員報酬	400	380	20	
給料手当	1,147	1,129	18	昇給
法定福利費	186	198	△ 12	年金基金返上
退職給付費用	121	109	12	
福利厚生費	32	2	30	
会議費	18	18	0	

令和3年度収支予算書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)

科 目	R3 予算	R2 補正予算	増減	備考
役員等旅費交通費	247	167	80	従来事業
旅費交通費	15	0	15	
通信運搬費	115	115	0	
什器備品	0	0	0	
消耗品費	124	113	11	計画差異
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	298	293	5	計画差異
賃借料	109	84	25	計画差異
保険料	220	220	0	
支払負担金	250	250	0	
委託費	631	587	44	
支払手数料	6	7	△ 1	
雑費	59	49	10	
経常費用計	154,368	143,449	10,919	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,052	950	△ 2,002	
当期経常増減額	△ 1,052	950	△ 2,002	
2. 経常外増減の部 (単位：千円)				
科 目	R3 予算	R2 補正予算	増減	備考
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	245	△ 245	
経常外収益計	0	245	△ 245	売却無
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	245	△ 245	
当期一般正味財産増減額	△ 1,052	1,195	△ 2,247	
一般正味財産期首残高	43,917	42,722	1,195	
一般正味財産期末残高	42,865	43,917	△ 1,052	
Ⅱ 正味財産期末残高	42,865	43,917	△ 1,052	

収支予算書に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込み

(単位：千円)

科 目	R3 予算	R2 補正予算	増減	備考
【投資活動収支の部】				
<投資活動収入>	0	262	△ 262	
固定資産売却収入	0	245	△ 245	
車両運搬具売却収入	0	245	△ 245	売却無し
敷金・保証金等戻り収入	0	17	△ 17	
預託金戻り収入	0	17	△ 17	
<特定資産取り崩収入>	1,700	3,131	△ 1,431	
財政運営資金資産取崩収入	0	0	0	
車両運搬具購入資金積立資産	0	2,831	△ 2,831	車両運搬具購入終了
30周年記念事業積立試算取崩	1,700	300	1,400	記念事業実施
投資活動収入計	1,700	3,393	△ 1,693	
<投資活動支出>				
固定資産取得支出	0	3,192	△ 3,192	
車両運搬具購入支出	0	2,452	△ 2,452	車両運搬具購入終了
什器備品購入支出	0	763	△ 763	設備購入なし
敷金・保証金等支出	0	17	△ 17	
預託金支出	0	17	△ 17	
特定資産取得支出	0	300	△ 300	
30周年記念事業積立支出	0	300	△ 300	
財政運営資金資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	3,509	△ 3,509	
投資活動収支差額	1,700	△ 116	1,816	

2. 受取配分金等の増加に連動する費用（支払配分金・支払材料費等）に限り
予算額を超えて執行することができる。